



理科教室



当日は約450人が参加



紙コップで「すもうロボット」を作成



講師の大学生の説明を聞く参加者

小中学生、教職員などを対象とした町理科教室は、12月13日(日)町立鏡石中学校を会場に開催されました。この教室は、子どもの理科離れの改善を目的に実施されたもので、当日は、学校法人工学院大学などにより、ろうそくやモーター電池などを作る10個のテーマが用意されました。参加者は、実験や工作など不思議な理科の世界を楽しんでいました。

飲 酒運転の根絶を目指し活動 =年末年始の交通事故防止運動=



▲駅利用者にはチラシを配布する安全協会の皆さん

町交通安全協会(小貫良巳会長)、町交通安全母の会(上野敏子会長)の飲食店訪問は、12月11日(金)行われました。この事業は、年末年始の交通事故防止運動に合わせ毎年行われているもので、当日は町内の飲食店の訪問、駅利用者に対し、飲酒運転防止の啓発を行いました。県内の飲酒運転による事故件数は、平成20年中138件も発生しており、6人の尊い命が失われています。

町交通安全協会(小貫良巳会長)、町交通安全母の会(上野敏子会長)の飲食店訪問は、12月11日(金)行われました。この事業は、年末年始の交通事故防止運動に合わせ毎年行われているもので、当日は町内の飲食店の訪問、駅利用者に対し、飲酒運転防止の啓発を行いました。

添 田会長、村越監事が受賞報告 =民生児童委員各種表彰受賞報告=

民生児童委員協議会の添田盛彌会長、村越キヌ子監事の各種表彰受賞報告が、11月30日(月)町長室で行われました。添田会長は、厚生労働大臣表彰、村越監事は、県知事感謝状を受賞されました。お二人は、同委員を長年務められて



▲村越監事、木賊町長、添田会長(写真左から)

おり、その活動の実績が認められたものです。

イ ベントの売上金を寄附 =東北旭紙業寄附贈呈式= =ふるさとCM大賞=



▲木賊町長、大河原課長、会田課長(写真左から)

作成したサッカーボールの売上金、社員親睦会からのもので、町ではふるさと鏡石ありがとう基金に積み立てることになります。

東北旭紙業株式会社の寄附贈呈式は、11月26日(木)町長室で行われ、同社の会田朝次営業課長、大河原忠宏業務課長が木賊町長に寄附金を手渡しました。寄附金は、段ボールで



▲木賊町長、森尾さん、京子夫人(写真左から)

町 議8期の功績により受章 =森尾前町議叙勲受章報告=

前町議会議員の森尾吉郎さん(高久田)の叙勲受章報告は、11月27日(金)町長室で行われ、京子夫人と二人で来庁されました。森尾さんは、昭和50年4月から平成19年3月まで町議会議員を務められた功績が認められ、旭日双光章を受章されました。今回の受章の喜びを「皆さまの御支援に感謝申し上げます。今後も町政発展のため、役立てればと思います」と話されていました。

まちの話 題



コンビニ強盗を想定した防犯訓練が12月8日(火)鏡石パーキングエリア(PA)下り線で行われました。訓練は、PA内のコンビニエンスストアに2人組の強盗が押し入ったことを想定に実施されました。参加者はメモを取るなどして訓練に参加していました。

鏡 石PAコンビニで訓練実施 =強盗を想定した防犯訓練=



▲犯人役の男がナイフを片手に店員に現金を要求する様子

キ ラッセまちづくりがV3 =ふるさとCM大賞=

2009ふくしまふるさとCM大賞審査会は、12月5日(土)日本大学工学部(郡山市)を会場に行われました。KFB福島放送の主催。町からは、キラッセまちづくり(山野邊龍介委員長)が「トランスファーマー」という作品を応募し、最高となる大賞を受賞し、見事3連覇を果たしました。作品では、町の農業をテーマに「トランスファーマー(変化する農業)」が描かれています。受賞作品は、仙台市で開催される東北大会に出品されることになります。



▲司会者のインタビューに答えるメンバー